



中学生と恵那市の未来を語る会を開催！



議会だより9月1日号

～目次～

6月議会定例会提出議案の概要……………	2～3
議案議決結果……………	4～5
議会活動報告……………	5
6月議会常任委員会報告……………	6～7
一般質問(9人登壇)……………	8～12
議会活動トピックス(リニア現地視察報告) ……	12
議会活動トピックス(管内視察報告)……………	13
特集～中学生と恵那市の未来を語る会～…	14～15
主な出来事(SDGs勉強会)……………	16
表紙の説明……………	16

令和4年第2回定例会

条例の改正及び補正予算(恵那駅西駐車場改修事業等)を可決

令和4年第2回定例会が5月30日から6月30日までの32日間にわたり開催されました。

今回の議会に上程された議案は、専決処分の承認3件、条例の一部改正11件、補正予算関係2件、その他議案2件、追加議案では補正予算関係1件の、合計19件です。主な議案の内容は次のとおりです。なお、議決結果は4、5ページの議決一覧表に掲載してあります。

専決処分関係

○恵那市税条例等の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、市民税関係では寄付金税額控除に関する経過措置期間の終了に伴い条文を削除するもので、固定資産税関係では、省エネ改修工事を行った住宅の固定資産税減税適用期間を2年間延長するなど、所要の改正を行う。

○恵那市都市計画税条例の一部改正

令和4年度に限り商業地等の課

税標準額について要件を満たす場合の上昇幅を半減する特例措置を講ずるなど、所要の改正を行う。

○恵那市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正

地域再生法に基づき、本社機能移転計画について知事の認定を受けた事業者が市内の地方活力向上地域に本社機能を移転した場合、3年間固定資産税の課税免除及び不均一課税の適用を受けることができる措置を2年間延長するなど、所要の改正を行う。

条例関係

○恵那市職員の給与に関する条例の一部改正

令和3年人事院勧告において、一般職員及び管理職職員の期末手当支給率を0・15月分、再任用職員の期末手当を0・1月分引き下げる勧告がなされたため、所要の改正を行う。

○恵那市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正

令和3年人事院勧告において、職員の期末手当支給率を0・15月分引き下げる勧告がなされたため、恵那市常勤の特別職職員の期末手当についても職員と同様とするため、所要の改正を行う。

○恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

令和3年人事院勧告において、職員の期末手当支給率を0・15月分引き下げる勧告がなされたため、恵那市議会議員の期末手当についても職員と同様とするため、所要の改正を行う。

○恵那市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正

令和3年人事院勧告において、任期付職員の期末手当支給率を0・1月分引き下げる勧告がなされたため、所要の改正を行う。

○恵那市会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

令和3年人事院勧告において、勤務形態が常勤職員と類似する非常勤職員の期末手当等については、常勤職員の支給月数を基礎として、

勤務時間等を考慮の上に支給するよう努めることとされた。今後、常勤職員の期末手当支給率に引き上げるよう検討し、現在再任用職員の期末手当支給率に準じて支給している会計年度任用職員の期末手当支給率を据え置きとするため、所要の改正を行う。

○恵那市国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者について、国民健康保険料の減免対象となる期間を改めるなど、所要の改正を行う。

○恵那市税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、住宅借入金等特別税額控除の適用期限を延長するなど所要の改正を行う。

○恵那市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

租税特別措置法施行令の一部改正に伴い、引用法令の変更が生じたため、所要の改正を行う。

○恵那市介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者について、介護保険料の減免対象となる期間を改めるなど、所要の改正を行う。

○恵那市営住宅条例の一部改正

矢伏住宅の廃止に伴い、施設の名称を削除するなど、所要の改正を行う。

○恵那市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部改正に伴い、消防団員等公務災害補償を受ける権利を担保とする特例を削除するなど、所要の改正を行う。

その他

○財産の取得

契約名 明智消防署水槽付消防ポンプ自動車購入事業
契約額 5,467万円
相手方 株式会社ウスイ消防

○市道路線の認定

長島町永田字棒作の長島町377号線を市道路線として認定する。

補正予算関係

○令和4年度一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルスに係る事業は、子育て世帯生活支援特別給付金事業として、18歳以下の児童を養育するひとり親世帯及び住民税非課税世帯の子育て世帯等に対し、子ども一人当たり一律5万円の特別給付を行うため5,383万円を計上した。

○令和4年度一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種を進めるため9,430万円、岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の恵那市負担分として4,676万5千円、コロナ克服・新時代開拓を支援する事業として、市民・事業所等のITスキル向上のための学習の機会を設けるため1,262万5千円、人流データを活用したより効果的なデジタル広告の発信等を行うための調査・分析をするため3,280万円を計上した。

次に、緊急対応を要する事業として、老朽化によるごみ収集車の更新のため1,077万7千円、恵那駅西駐車場の老朽化に伴う大規模改修工事のため1億5,622万2千円などを計上した。



改修工事を行う恵那駅西駐車場

また、国庫・県支出金、寄附等の財源を活用した事業は、鳥獣害対策事業費として、(株)恵那ジビエが実施する加工施設への補助を行うため1,558万4千円、住宅におけるエネルギーの自給自足、創エネ、畜エネを支援するためのシステム設置費補助金の増額に882万円など、合計4億8,487万2千円を計上した。

追加議案

○令和4年度一般会計補正予算(第3号)

学校給食センター及びこども園が提供する給食について、食材費高騰分を公費負担とするほか、毎週1回恵那産食材の使用又は市内

事業者からの調達を行う「エナ給食の日」を9月から3月まで実施するため5,225万5千円、原油価格・物価高騰の影響を受けている家計の支援及び地域経済の活性を図るため、当初予定していたプレミアム商品券の規模を拡大し、プレミアム率15%の電子商品券1万シートを追加するため1,938万8千円、落ち込んだ消費を喚起し観光事業者を支援するため、昨年度好評であった日帰り入浴施設割引キャンペーンを早期に実施するなどの事業を行うため1,970万円を計上した。

また、国庫・県支出金、寄附等の財源を活用した事業ではSDGsを市民・団体等と一体となり推進していくため、市民・事業所などへの普及啓発や事業所と金融機関とのパートナーシップ制度の構築、恵那の食に関する認証システムの構築・拠点の整備・ツーリズムの推進などを行うため3,607万8千円など、合計1億4,509万円を計上した。

6月議会定例会傍聴

37名

新型コロナウイルス感染症予防のため、3月議会は傍聴席を閉鎖していましたが、今期定例会では、マスクの着用と当日の検温をお願いし、座席数を減らして傍聴を再開しました。

6月議会 議決結果

(全会一致分)		
	議 案 名	採決結果
条例関係	専決処分の承認について（専第1号 恵那市税条例等の一部改正について）	承 認
	専決処分の承認について（専第2号 恵那市都市計画税条例の一部改正について）	承 認
	専決処分の承認について（専第3号 恵那市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について）	承 認
	恵那市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
	恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可 決
	恵那市会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
	恵那市国民健康保険条例の一部改正について	可 決
	恵那市税条例等の一部改正について	可 決
	恵那市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可 決
	恵那市介護保険条例の一部改正について	可 決
	恵那市営住宅条例の一部改正について	可 決
	恵那市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可 決
その他	財産の取得について（明智消防署水槽付消防ポンプ自動車）	可 決
	市道路線の認定について（長島町377号線）	可 決
補正予算関係	令和4年度恵那市一般会計補正予算（第1号）	可 決
	令和4年度恵那市一般会計補正予算（第2号）	可 決
	令和4年度恵那市一般会計補正予算（第3号）	可 決

6月議会 議決結果

(採決が分かれたもの)

件名		会派・議員名	結果	新 政 会										共産党	公	市	リ	無	無	
				堀 光 明	後 藤 康 司	鶴 飼 伸 幸	千 藤 安 雄	中 嶋 元 則	西 尾 努	柘 植 孝 彦	伊 藤 勝 彦	服 部 紀 史	太 田 敦 之	林 貴 光	猿 渡 南 江	平 林 多 津 子	町 野 道 明	安 藤 直 実	佐 々 木 透	秋 山 佳 寛
条例関係	恵那市職員の給与に関する条例の一部改正について		可 決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について		可 決	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

* 共産党；日本共産党、公；公明党、市；市民ネット、リ；リベラルえな、無；無所属

○；賛成、×；反対

議会活動報告

5月

12日 議会だより編集会議

15日 議場改修見学会

20日 議会だより編集会議

23日 議会運営委員会

全員協議会

27日 議会運営委員会

30日 恵那市議会定例会（初日）

6月

9日 総務文教委員会

10日 市民福祉委員会

13日 経済建設委員会

15日 総務文教委員会管内視察

議会運営委員会

全員協議会

20日 経済建設委員会管内視察

21日 市民福祉委員会管内視察

23日 恵那市議会定例会（第2日）

24日 恵那市議会定例会（第3日）

議会運営委員会

総務文教委員会

経済建設委員会

30日 恵那市議会定例会（最終日）

SDGs研修会

7月

7日 リニア中央新幹線対策特別委員会

26日 議会運営委員会

全員協議会

29日 議会だより編集会議

中学生と恵那市の未来を語る会

他市町村からの視察受入状況（1件）

7月

4日 三重県いなべ市議会

「太陽光発電設備設置に関する条例について」





補正予算で物価高騰対策

新型コロナウイルス感染症の影響並びに世界情勢等により、給食食材費の高騰分の公費負担の実施、原油価格・物価高騰の影響を受けている事業者に対して支援を行います。

給食費の高騰分5,225万5千円を含めて、5事業で総額7,931万2千円の補正予算を可決しました。

- 1 学校給食センター及びこども園が提供する給食について、給食食材費の高騰分等を公費負担とするほか、毎週1回恵那産の食材又は市内業者からの調達を行う「エーナ給食の日」を9月から3月まで実施します。
- 2 原油価格・価格高騰の影響を受けている家計を支援するため、プレミアム率15%の電子商品券規模を10,000シート拡充します。
- 3 原油価格の高騰により影響を受けている地域交通事業者に対して、経営支援を行います。
- 4 原油価格・物価高騰による担い手農家への影響を緩和するため支援を行います。
- 5 飼料価格の高騰に対して、粗飼料を利用する酪農及び和牛の生産農家を対象に、飼料購入費の支援を行います。



市内周遊ツアーによる観光誘客・日帰り入浴施設割引キャンペーン

新型コロナウイルス感染症はワクチン接種の普及促進により重症化が減少し、国内旅行については徐々に回復傾向が見られます。

このような情勢を踏まえ、国内旅行者を本市に誘客し、滞在及び域内消費の活性化につなげる事業に取り組みます。また、市民に心身の健康増進を図ってもらうためのキャンペーンを実施します。2事業で1,970万円の予算を可決しました。

1 市内周遊ツアーの造成

市内観光バスや明知鉄道等を利用した市内周遊ツアーを実施し、観光誘客及び域内消費の活性化を図ります。参加料金の15%を市が負担する実施期間は令和4年8月～令和5年3月までで、実施主体は恵那市観光協会です。

2 日帰り入浴割引キャンペーン

市民を対象に1回の入浴につき300円の割引を行います。実施期間は令和4年8月1日～令和5年3月31日までで、5施設が対象です。



明知鉄道



くしはら温泉ささゆりの湯

6月議会委員会報告

総務文教
委員会

～令和4年度SDGs未来都市及び 自治体SDGsモデル事業に選定される～

令和4年5月20日、内閣府が選定する持続可能な開発目標（SDGs）達成に向け、優れた取り組みを提案する自治体として「SDGs未来都市」に恵那市が選定されました。

【特に注力する先導的取り組み（自治体SDGsモデル事業）】

課題：経済（食料自給率の向上・産業の担い手育成・耕作放棄地の解消）

社会（健康寿命の延伸・伝統的食文化の理解促進・食生活の問題解消）

環境（食品の大量廃棄解消・間伐材の利用促進・食の文化的景観保全）

経済・社会・環境の三側面での総合的取り組みに、生活の基本となる食生活に着目して、食を通じた経済、社会、環境面での課題解決を図る。経済面では地場産品活用商品の開発を支援し、伝統の味を継承する。環境面では、循環型農業や食品加工を推進、食を基本にSDGs実現へ取り組むこととしている。SDGs推進により、地域が活性化することを望んでいます。



市民福祉
委員会

～新型コロナウイルス感染症の 影響を受けた方の保険料の減免など～

今議会での議案内容は条例改正が2件あり、恵那市国民健康保険条例の一部改正及び恵那市介護保険条例の一部改正については、2件共、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者について、減免対象とする保険料を改めるため、条例の一部を改正するものです。

また、当委員会所管の一般会計補正予算の主な内容は、新型コロナウイルスに係る事業の市民生活・暮らしへの支援をする経費として、18歳以下の児童を養育するひとり親世帯及び、住民税非課税世帯の子育て世帯等に対し、対象児童1人当たり一律5万円の特別給付を行うために子育て世帯生活支援特別給付金事業費5,383万4千円、同じく新型コロナウイルスに係る事業の市民生活の安全確保と支援をする経費として、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種を進めるための新型コロナウイルスワクチン接種事業費に9,430万円、同じく新型コロナウイルスに係る事業の市内企業・事業所を支援する経費として、国の令和3年度補正予算で実施された、保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特別事業による放課後児童支援員、保育士等の処遇改善を行う経費として放課後児童対策事業費497万円が計上され、可決しました。



やまのうち とし ひろ

山内 敏 敬

ゼロカーボンシティ 宣言について

問 ゼロカーボンシティ宣言をした背景は？

答 2050年までに二酸化炭素の実質的な排出量をゼロとするカーボンニュートラルの実現を目的とする「地球温暖化対策の推進に関する法律」の一部改正が令和3年6月2日に公布され、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出量削減等を推進するための総合的な計画の策定が市町村に努力義務として課された。そのために「恵那市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を3月に策定し、地球温暖化対策を推進していくことの意味表明として、「ゼロカーボンシティえな」を3月23日に宣言した。

問 恵那電力の特徴は？

答 恵那電力では、太陽光発電設備と大容量蓄電システム（NAS電池を自社保有することにより、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）に依存しない、安定的で自立した地域電力

網の確立を目指している。

問 目標達成に向け、市民への支援策等は？

答 本年度、脱炭素に向けて、気密性が高く冷暖房の使用を抑えられる省エネ住宅や、自宅で電気を発電し、発電した電気を活用する創エネ住宅の普及を目指すため、補助金制度を設けて支援する。補助金の内容は5つあり、太陽光発電システム、蓄電池システム、次世代自動車充電システム、太陽熱温水システム、家庭用燃料電池システムなどの工事に對して一定の条件を満たせば補助の対象になる。また、えなの木省エネ住宅建設補助金として、市内産の木を80%以上使用して一定の基準の気密性のある住宅を市内建築業者が新築する住宅を対象に、最大50万円を補助する。

（水道環境部長）



まち の みち あき

町野 道 明

福祉の支援について マイナポイント事業について

問 弱視の子どもは50人に1人ほどいるとされています。弱視の発見には3歳児健診の際、専門機器を用いて屈折異常、ピントの外れを調べる屈折検査が有効です。専門機器の配備や健診の取り組みは。

答 屈折検査機器は弱視の選別が簡単にでき、近視・遠視・斜視などの検査が可能であり、6月末に納入し、7月からの健診で実施する予定である。4月から6月までは保健所から検査機器を借りて実施し、早期発見に活用していきたい。小中学校の児童生徒の視力検査はランドル環を用いた検査を実施する。

問 障がい者手帳において、紙帳の紛失や破損、又は手帳を忘れて支援サービスを受けられないなど課題があります。そこで、障がい者手帳の情報を登録できるミライロIDというデジタル障がい者手帳アプリを利用した取り組みは。

答 ミライロIDはスマートフォン向けの無料アプリで障がい者手帳等の情報をスマートフォン

オン内に登録することで、手帳の情報が画面に表示できる。障がい者等の負担を軽減できることからアプリ登録の推奨、市有施設で利用できるよう理解を深めていく。

問 マイナポイント事業はマイナンバーカードの普及と消費喚起の目的で現在第2弾が行われている。健康保険証、公金受取口座を登録するなど最大2万円のポイントが受けられるが、普及の対応は。

答 市内人口の41%が取得している。第2弾は消費喚起に結び付くと考えている。8月号の広報えなで特集記事を出すほか、地域自治区会長会議で普及促進の協力依頼をしている。身分証明書や電子確定申告、健康保険証のようにな様々な使い道があり、7月から9月までを普及促進期間として積極的に取り組む。

（市民サービス部長）

その他の質問

・ 地方創生臨時交付金について
・ ヤングケアラー支援について



あき やま よし ひろ
秋 山 佳 寛

重層的支援体制整備事業・ 恵那市内の公園整備について

重層的支援体制整備事業について

問 重層的支援体制整備事業について、市民に分かり易く説明して下さい。

答 市民からの相談は、分野別の支援体制では対応しきれない複雑化、複合化した内容が多く、様々な相談を総合的に受け止め、それぞれの機関と連絡調整し、情報を共有しながら包括的に支援する事を目指した事業です。

問 アウトリーチ支援体制の説明をお願いします。

答 相談に向くことが心理的に難しい人、自ら困っていることを発信できない人のため、専門の職員が自宅や公共の施設などに出向いて話を聞いたり、相談や社会参加へつないでいく支援体制です。

恵那市内の公園整備について

問 中央公園が再整備されます。市全体の公園の状況はどう

答 その他の公園全体も、今年度、公園の在り方検討会を

開催し、公園全体の方針の検討を考えております。

問 子供たちの公園、観光客が景色などを楽しむ公園など公園の趣は様々だが観光客用へのアピールはされているか。

答 現行の「恵那回廊ガイド」は、製作から約10年が経過しており、新規企画中である。多言語対応や、観光PR動画を作成し、恵那の自然・食・文化・歴史・体験アクティビティなど魅力を発信、来訪者の利便性向上、国内外からの誘客を推進します。

問 公園の一部をキッチンカー等の営業に使えるか。

答 公園によっては恵那市都市公園条例により物品の販売を行う許可を受けていただければ可能となります。

問 笠置峡ボート・カヌー場の利活用について、個人層をターゲットにする考えはあるか。

答 安全対策が求められることから、利用者には計画的な利用をお願いします。

(教育委員会事務局次長)



さわ たり みな え
猿 渡 南 江

学校給食の諸課題について

学校給食の諸課題について

問 給食食材の高騰に関する対応は。地元食材の供給状況は。

答 給食食材は、世界情勢などの影響で野菜などはほぼ値上げとなっているが、子どもたちには安心・安全かつ栄養価が確保された給食を提供することが大切であり、食材の変更等で工夫している。また、恵那市の学校給食基

本方針の中でも、地元の食材使用、地産地消を心がける、とある。白米は100%恵那産コシヒカリを提供している。

問 給食はこどもの体をつくるもと。今後は有機食材を少しでも取り入れていただきたいが、どのように考えているか。

答 有機野菜や無農薬野菜は生産者も少なく、量の確保も必要となり、1日5千食に対して安定的な供給は難しい現状だが、今後も地元食材をふんだんに活用していく。

問 外国産の小麦粉を使った給食のパンからグリホサートが検出されたニュースも聞くが、

恵那市のパンの小麦粉の産地は。

答 50%岐阜県産、残りはアメリカ・カナダ産となっているが、専門機関において、品質と安全性は確保されている。

問 もう少し、米飯給食を増やせないか。

答 米飯は週3回から4回対応している。子どもたちからの、いろいろなものが食べたいなどの声も取り入れて献立をたてている。

問 念願のアレルギー対応食が、はじまり本当によかったが、問題点などあるか。

答 3学期からはすべての学校で対応していく。今のところ、特に問題なく進んでいる。

問 給食費についてはどのような見通しか。

答 食材の高騰分は地方創生臨時交付金で対応して、給食費の値上げはしない。

(教育委員会事務局次長)

その他の質問

・WRCについて
・公園に遊具の設置を



はつとり のり ぶみ
服部 紀史

希望のもてる地域づくり

～歴史文化を活用した

特色ある地域づくり～

全国山城サミット恵那大会について

問 サミットの大会概要やコンセプトは？

答 第29回全国山城サミット恵那大会では、「未来につながる 山城と戦国乱世に生きた先人たちの誇り」をテーマに、10月22日（土）、23日（日）の2日間にわたり開催する。今回の山城サミットでは、恵那市内の山城の魅力発信できる絶好のチャンスであることから、背景にある歴史や文化を解りやすく紹介することで、お城ファンだけでなく、若者からお年寄りまで幅広い層の集客に努めたい。特にテレビ番組でおなじみの落語家の春風亭昇太さんなどにも協力いただき、山城を身近に感じていただけるような特別企画も現在、調整している。

（商工観光部長）

「おうえい 鳴鳴フォーラムについて」

問 フォーラムの具体的なテーマや内容は？

答 鳴鳴フォーラムは、ふるさとの先人を通して、まちづ

くり、人づくり、心そだてを目指す自治体が協力し合い、歴史を活かしたふるさとづくりを全国に発信していくことを目的に開催している。今回は、佐藤一斎先生の生誕250年記念として開催し、鳴鳴フォーラムに向けて昨年度から鳴鳴フォーラム実行委員会の設立やプレイベントを開催し、全市の取り組みとしている。鳴鳴フォーラムin恵那2022は、11月18日（金）、19日（土）の2日間にわたり開催し、初日は、加盟自治体の先人顕彰団体向けの市内視察と交流会を計画し、2日目には、恵那文化センターにおいて市町長会議、教育長会議を行い、恵那市の10年の歩みとこれからの取り組みを基調報告し、「三学の教え」とまちづくりをテーマに、次代を担う子どもたちのために、「今、考えなければならぬこと」を議論する。また、市民参加をいただき、小中学生の発表を行って、恵那市の取り組み、佐藤一斎先生の三学の教えを全国に発信していきたい。

（教育委員会事務局長）

一般質問



いとう かつ ひこ
伊藤 勝彦

恵那市におけるSDGsの推進について

問 恵那市がSDGsに取り組もうとしたいきざしは。

答 地方自治体も取り組むことが不可欠であり、市としてSDGsを活用して持続可能なまちづくりを展開していこうとするもの。

問 恵那市がSDGsを推進していくうえでの基本的な構えや考え方は。

答 SDGs達成に向けた取組は地方創生に資するものであり、SDGsを原動力に各部署を横断した取組が推進できる。

問 今年度から設置されたSDGs推進室の役割は。

答 主な役割はSDGsに関する施策・事業の総合調整。具体的な業務内容は、SDGs未来都市計画の策定、企業や市民等を交えた組織の設立、広報活動等普及啓発等である。

問 「SDGs未来都市」に選定されたが、基本的な考えと令和4年度自治体SDGsモデル事業の内容は。

答 自治体SDGsモデル事業では、生活の基本となる「た

べる」ことに着目し、経済・社会・環境の三側面に関する課題解決を図り目標達成を図る。

問 本年、環境基本計画等が策定されたが、温暖化対策とSDGsとの関係は。

答 ゼロカーボンの取組なしには持続可能な社会の実現はないと考える。（水道環境部長）

問 恵那市の教育におけるSDGsへの取組の今後の方向性は。

答 ふるさと学習など従来からの取組をSDGsの視点で再定義するなど、教育活動全般を通して課題解決のための力をつけていく。（副教育長）

問 SDGs達成に向けた取組を通じた恵那市の将来像は。

答 SDGsの取組は地方でこそ効果を発揮する。SDGsで恵那市の付加価値を高め、恵那市で暮らすことに高い価値を感じられるようにする。そのためには、行政だけでなく関係者が一体となり自分事としてとらえるようにすることが重要である。（市長）



ひらばやし たづこ

平林多津子

安心して学び、成長できる 教育環境の整備

安心して学ぶための教員配置

問 学校職員の正規・非正規などの人数とその年齢構成は？

答 令和4年度の恵那市の小中学校の学校職員数は416人、そのうち正規職員は75%、常勤講師や臨時職員は13%、非常勤講師は12%。多くを占める正規職員は20歳代で全体の約3割。常勤講師や臨時職員は60歳代で約5割。非常勤講師は60歳代が約7割。近年正規職員は若手が多く講師は定年退職した教員を採用している。

問 教員の不足が言われる中、恵那市の現状は？

答 恵那市においては、今年度が始まった時点で担任が不在ということはない。年度途中で休む教員があれば代替の常勤講師を確保し、代替講師が確保できない場合は、学校内でやりくりし、子どもたちの学習に影響がないよう行っている。

中学校における部活動と地域クラブ

問 国では部活動を地域移行する方針だが恵那市では？

答 部活動は顧問の教員が担当している。地域クラブの組織化が図られておらず、休日等の活動を顧問の教員が担っている地域が一部ある。

問 部活動の地域移行を進めるための課題は？

答 研修会を開催し、部活動の教育的意義を理解した指導者の育成を図っている。練習日数や練習時間の上限、不適切な指導の禁止、練習方針などの共通理解を行う。課題は指導者の確保。恵那市の実情に即した部活動の地域移行を進めていきたい。

問 恵那南地区の中学校再編について

答 恵那市教育環境等検討委員会を設置した目的と構成員の内訳は？

答 急速な少子化に伴う生徒の減少・取り巻く環境の変化の中、恵那南地区中学校の教育環境の方向性を中心に検討する。教授・地域自治区代表・PTA連合会代表等で旧恵那と旧恵南で半々、合計16名で構成する。

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)

(教育委員会事務局次長)



ほり みつ あき

堀 光 明

教育長として、今後の抱負は

問 教育委員会は、教育行政、生涯学習、スポーツ等、子どもから老人まで全世代にわたる分野を担当しています。教育長として、今後の抱負は。

答 恵那市で暮らす子どもから大人までの誰もが、「学んで幸せになる」ことを願っています。恵那市教育基本計画の後期計画の基本理念である「ふるさとを愛し、学び続ける人を育てる恵那の教育を目指したい」を指して、全力で取り組んでいきます。

恵那市の子どもにとって、10年先、20年先を見通して、最も良い教育環境について考えていきます。答えは一つではありません。私たち大人が、子どもの未来を真剣に考え、知恵を出し合い、よりよい教育環境を考えていかなければなりません。

そのためにも教職員の資質・能力のさらなる向上を目指し、熱意に溢れた高い指導力と人間性をもった教職員とともに子どもたちが学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感で

きるような環境づくりに努めたい。とりわけ、一人一台端末の活用により、自ら見通しを立てたり、自分の学習状況を把握し、自分に合った学習方法を見つけたり、学び直しや発展的な学習を行うような学びの質を高めることに取り組みます。

現在、地域社会の機能は弱まりつつあります。そこで、学校運営協議会や地域学校協働活動などの取り組みをさらに充実させることで、学校運営に地域の人々が参画し、地域全体で子どもたちの学びや育ちを支えていくような、学校を核とした地域づくりを目指します。

(岡田教育長)



学校運営協議会の様子



あ ん ど う な お み
安 藤 直 実

恵那市の介護の現状について 介護の重症化と施設入所について

問

介護老人保健施設（老健）はリハビリし在宅療養復帰を目指す施設である。一方、介護老人福祉施設（特養）は終身入ることができ施設であり、特養は介護が重度化する介護3以上でないと入所できない現状がある。施設入所の現状はどのようなか。

答

令和4年3月現在、要介護3～5の方は1,229人です。そのうち特養、老健には38%、462人が入所しています。（医療福祉部長）

ズは
夜間早期の訪問介護のニーズは

問

「恵那市在宅医療・介護連携推進会議」で委員から課題提起されていることに対し、市の認識は。

答

委員からは「夜間の介護対応が心配で、やむを得ず施設入所を考へなくてはいけない方があるのでは」「夜間訪問介護の希望者はどのくらいあるか」等の意見がありました。そこでケアマネージャーを対象にアンケートを

実施しました。その結果「夜間や早期の訪問介護のニーズは、一定程度ある」こと。また「日中に限らず幅広い訪問介護が充実すれば、施設入所しなかった介護に加え、在宅における介護の選択肢が広がる」ことを認識しました。一方、介護事業者からは、「必要性を認識していても夜間ヘルパーの人材確保が難しい。確保しても日中訪問介護、通所サービス等を提供しないと効率的な事業とならない」等の意見があります。今後は利用者及び事業者から詳細な実態を把握していきます。

（医療福祉部長）

その他の質問

- ・「向こう3軒両隣」の福祉について
- ・介護施設入所者と家族の面会について

活動どう市議会 かっ動トピックス

中津川市議会・恵那市議会 リニア関連懇談会及び現地視察を実施

中津川市議会・恵那市議会リニア関連懇談会が7月15日（金）に恵那文化センター集会室において開催されました。

懇談会に先立ち、リニア岐阜県駅や中部総合車両基地、濃飛横断自動車道など、リニア整備に関わる工事箇所を東海旅客鉄道株式会社中央新幹線岐阜東工事事務所や恵那土木事務所の担当者から、現地において現状を説明していただきました。



中津川市議会・恵那市議会リニア関連懇談会

懇談会では、両市議会正副議長のほか、リニア対策特別委員、岐阜県リニア推進事務所長、両市の行政担当者が出席し、様々な課題について情報交換が行われました。特に両市が描くリニアに関連したまちづくり計画について活発な意見が出され、両市の連携・調整を更に密にすることが確認されました。



中部総合車両基地の説明を受ける委員



濃飛横断自動車道の説明を受ける委員

3 常任委員会が市内の関係所管事項について視察を実施

恵那市議会の3常任委員会では、それぞれの委員会の所管事項に関係する施設や現場について、現在当市が抱える課題等を調査することを目的として視察を実施しました。

視察先は、主に昨年度行った事業、及び今年度を実施予定の事業で、各担当課から内容・課題・今後の展開等についてそれぞれ説明を受けました。

各常任委員会では、市民の皆様のご意見や、当市が抱える問題・課題を把握し、少しでも解消すべく議会において取組み、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

総務文教委員会

6月13日(月)市内の計10カ所の視察を実施しました。

【視察先】

- ・ 確定申告受付方法及び罹災証明発行業務について税務課から説明(市役所)
- ・ アレルギー食調理室(大井町恵那市学校給食センター)



消防ポンプ車

経済建設委員会

6月20日(月)市内の計10カ所の視察を実施しました。

【視察先】

- ・ 恵那市浄化センター(大井町)
- ・ 長島奥戸線河鹿橋(大井町)
- ・ 恵那山ファームローカル10,000プロジェクト(大井町)
- ・ 中央公園再整備(大井町)
- ・ 公共復旧治山 保古山(東野)
- ・ 県営経営体育成基盤整備事業



恵那山ファーム

市民福祉委員会

6月21日(火)市内の計7カ所の視察を実施しました。

【視察先】

- ・ 介護老人保健施設ひまわり改修(明智町)
- ・ 旧吉田小学校に開設した(株)朋優(明智町吉良見)
- ・ (株)朋優が運営する明智駅前プラザカフェ「アケチカケル」(明智町)
- ・ 山岡健康プラザ(山岡町上手向)
- ・ こども発達センターにじの家(大井町)
- ・ えな・ふれあいの家(大井町)
- ・ 窓口サービス及び国民健康保険について市民課及び保険年金課から説明(市役所)



えな・ふれあいの家

- ・ 道の駅おばあちゃん市・山岡改修工事(山岡町上手向)
- ・ 恵那電力 太陽光発電及びNAS電池(明智町)
- ・ くしはら温泉ささゆりの湯(串原)
- ・ 市有林皆伐事業(明智町東方)

「中学生と恵那市 の未来を語る会」 を開催

7月29日(金)に「中学生と恵那市の未来を語る会」を開催しました。この会は、市議会の活動を広く市民に知っていただくことを目的に、今年2月に完成した新しい議場を会場として使用し、行いました。市内中学校の生徒会の皆さんをお迎えし、中学校で例年行っている生徒会サミットとして開催しました。

進行は議長が行い、開会のことばの後、始めに市議会の役割について、広報広聴特別委員会の服部委員長から説明があり、その後、各中学校が発表をしました。

テーマを「持続可能な恵那市を目指してSDGsにどのように取り組むか」とし、各校の取り組みを紹介。各校の取り組みとSDGsの目標とを結びつけ、恵那市の未来のためになることについて提案していただきました。

各校からの提案内容及び議員からの感想については次のとおりです。



未来都市
恵那市

恵那東中学校

生涯にわたって住み続けられるまちづくりのため、もったい魅力あるウェブページの活用を。プレゼンテーションに多用するヘッドフォンマイク、スピーカー、タッチペンを各中学校に。市の特性を生かした個性的なりサイクル活動を。一対一で勉強を習う機会を。

【安藤直実議員】 プレゼンテーションの学習は社会に出てからも役立つ。生徒の皆さん誰もがよい効果を発揮できる周辺機器整備について、議会としても一緒に考えていく。



生徒会長の奥山さん

恵那西中学校

エナ・ウォーキングとして市公式アプリに歩数計機能をもたせ、市の絶景スポットでQRコードを読み取り、その数に応じて商品券や景品に交換するしくみづくり。名物を紹介する恵那うまいもんサミットを開催し、より多くの人に市のよさを知ってもらおう。

【中嶋元則議員】 エーナ健康ポイントとは、歩数を紙に記録するなどアナログな部分が多いので、議会としても関係部署に働きかける。ラリー等イベントを活用して市のよさをアピールする。



右から、生徒会長の野崎さん、副会長の和木さん

恵那北中学校

お祭りやイベントでは新しい出会いがあり、楽しめるものばかりだが、知られていないものも多い。お祭り等のほか、特産品や町並み等をSNSを活用して人の目にふれる機会を増やせば、興味を持つ人が訪れ、移住する人が現れ、まちが活性化します。市のよさを磨き続けてほしい。

【林貴光議員】 現在もライン、フェイスブック、ユーチューブなどの広報活動があるが、市民と行政とが連携した情報のプラットフォームを構築すること、きめ細かい情報発信ができる。



右から、生徒会長の額額さん、副会長の山口さん、執行委員の大江さん

岩邑中学校

人口減少問題を解決するため、地元の歴史や特産品を詳しく知り、魅力を伝えることが大切。中学生と企業がコラボして、魅力を伝えるために工夫した商品開発をするなど、幅広い世代が丸となって協力することで、多くの人が集まり、住み続けたいまちをつくりたい。

【服部紀史議員】すでに企業とコラボして市の魅力を伝える活動をしていることが大変素晴らしい。活動を進めるうえで困ったこと、助けてほしいことがあったら、相談してほしい。



右から、生徒会副会長の河合さん、会長の原さん

山岡中学校

遠隔教室を活用して中学校間でビブリオバトルで交流をしたい。その輪をさらに広げて市全体で自由に参加できるイベントができれば、新しいジャンルの本との出会い、本離れ対策にもなる。住民の手で盛り上げられるイベントなので、ぜひ開催してほしい。

【佐々木透議員】ビブリオバトルにより、多くの交流、市全体の読書への高い意識、コミュニケーション能力の習得が期待できる。中学校間で実現したらぜひ伺いたい。開催を楽しみにしている。



右から、生徒会長の鈴木さん、副会長の安部さん

明智中学校

豊かな自然を生かして、自然体験ができるレジャー施設を造ってほしい。コロナの影響でアウトドア志向が高まっている。子どもが遊べるアスレチックやツリークライミングなどを設置すれば、家族連れなどで賑わう。そこで地元食料を売れば地域も活性化する。



右から、生徒会副会長の伊藤さん、会長的小木曾さん、書記の伊藤さん

【平林多津子議員】豊かな自然をそのまま生かしたキャンプ場などを造り、地産地消で食べ物を提供することは大事なことです。これからは、中学生の柔らかな頭でどんな提案をしてほしい。

串原中学校

串原の山を守り育てるために活木プロジェクトを実施している。間伐材を使って薪割りをし、キャンプ場で販売。売上の一部を地域に還元する活動で、今年は地域住民も参加するので、みなさんに見てほしい。

【堀光明議員】間伐は新への利用だけでなく、水源の整備により、よい水をつくる。また、災害予防にもなる。こういった活動を多くのSNSを使って全市・全国・世界へ発信してほしい。



右から、生徒会長の三宅さん、副会長の小曾根さん

上天作中学校

全中学校へ遠隔交流設備を導入してほしい。恵那地区のみならず、恵那の生徒たちが同じ環境で意見を交流したい。他の中学校の活動から学び、自校の活動に活かすことで、各中学校の諸活動が充実する。特産品を利用した開発商品を企業等の店頭で扱ってほしい。



右から、生徒会執行部の土屋さん、副会長の小林さん、執行部の井出さん、会長の塚田さん

【太田敦之議員】全中学校と積極的に関わろうとする前向きな活動は、コミュニケーション力や社会性を養う。ICT環境整備の充実について考えていく。開発商品の支援は地域への働きかけも必要。

市長へ提言書を提出

各中学校からの提案後、教育長からは「素敵な発表が聞けて嬉しかった。これからは考えることを止めないでほしい。いつも考え、声に出し、まずは自分で、次は仲間と、時には地域も巻き込んで、活動を進めることができれば、持続可能な社会、住んでいてよかったと思える恵那市になる。皆さんに大いに期待している。」との感想が述べられました。広報広聴特別委員会の佐々木副委員長からは、まとめとして「貴重な意見や提案を市長に提言し市政に反映できるよう働きかけていきたい。」との説明がありました。最後に、町野副議長からは、中学生ほか関係者への感謝のことが述べられた後、閉会しました。

8月18日(木)にいただいた提案をまとめ、市長に提言書を提出しました。はじめに服部委員長がこの会の報告をし、各中学校からの提案内容を説明しました。議長からは「初めての試みであったが、子どもたちから、自分たちのまちを良くしようという気持ちが伝わった。本当にやってよかった。」と、佐々木副委員長からは「中学生のみなさんが、これだけ市への思いを持っていることに驚いた。」との感想が述べられました。

市長からは「SDGsに対する子どもたちの意識や、市への思いを形にしている。提案をしつかり受け止め、できるだけ実現したい。」との言葉をいただきました。



左から、服部委員長、小坂市長、鶴飼議長、佐々木副委員長

主な出来事

SDGs 勉強会を開催

恵那市では本年度からSDGs推進室を設け、SDGs未来都市の認定を受けるなど、積極的な推進を図ろうとしています。そんな中で今回、全国的に先進的な取り組みを行っている北九州市の担当職員を招き、議会や職員に対して講演をしていただきました。

SDGsという言葉は、今や毎日テレビや新聞等で目や耳にするほど日常にあふれています。が、その実態については良く分からないのが一般的な感覚だと思われま

す。

私たち議員も全員が図書を購

入しSDGsを勉強しています。「中学生と恵那市の未来を語る

会」においても、中学生からSDGsに関する提

言をいただきましたので、今後も市民の皆さんと

一緒に考え、できることから自分事として取り組

んでいけたらと思います。



議場で講義をうける議員

表紙の説明

6月議会から人数等の制約はあったものの、新しくなった議場での傍聴も可能となり、37名もの多くの傍聴がありました。久々に議場にも活気が戻りつつあります。

そんな折、市内8校の中学生33名を迎え、新型コロナウイルスの感染症対策もしつかり行い「中学生と恵那市の未来を語る会」を実施することができました。お越しいただいた中学校の生徒の皆は、毎年実施している生徒会サミットとして実施したこともあり、生徒会役員の生徒さんがほとんどでした。

今回の企画は、コロナ禍においても実施できる方法として広報広聴特別委員会が考えたものです。校長先生を始めとする学校関係者や教育委員会のご理解、ご協力のもと実施できましたことに改めて感謝申し上げます。

また、当日の内容については、特集記事のとおりであります。この様子はケーブルテレビでの生放送やYouTubeにおいてライブ配信も実施しました。現在、恵那市公式チャンネルにてオンデマンド配信しているほか、9月5日からはケーブルテレビでの再放送をしますので、ぜひご覧ください。



▲YouTube動画配信

編集後記

新型コロナウイルス感染症が第7波とされる中、感染者は過去最高を記録し、生活への影響や社会経済に与える影響は更に深刻さを増しています。安心して暮らせる社会のため、一日も早い終息を願うばかりです。

恵那市議会は7月29日、新たな試みである「中学生と恵那市の未来を語る会」を行いました。市内8中学校の生徒代表が、SDGsをテーマとし、市政に反映すべく、それぞれの提言や意見を発表しました。未来の恵那市に向けた思いは、若者にとって切実であり、大切な問題と感じさせられました。今回の語る会が、将来に繋がる取り組みであることを願っています。

(T・S)

広報広聴特別委員会

委員長 服部紀史

副委員長 佐々木透

委員 平林多津子、西尾努

中嶋元則、安藤直実

堀 光明

次回の議会だよりは、12月1日の発行を予定しています。